



標茶町博物館では新型コロナウイルス感染予防策として、7月より非接触体温計による検温を来館者の皆さんにお願いしています。博物館へお越しの際はご協力をお願いします。

## 標茶町の自然写真大募集！

### あなたの撮った写真を博物館に 展示してみませんか？

標茶町博物館では令和3年3月に特別企画展として「標茶町の自然」をテーマにした写真展を予定しています。開催にあたり当館では「標茶町で撮影した自然の写真」を募集します。

庭に突然現れた野生動物や毎日見ている風景の写真など、皆さんが日々感じている自然をぜひカメラに収めてご応募ください。参加者には景品も用意しています。皆さんのご応募お待ちしております。



～募集期間～ 9月1日(火)～11月3日(火)

～募集写真～ 「標茶町で撮影した自然写真」

～応募方法～

写真画像データを標茶町博物館メールアドレス (nitai-to@sip.or.jp) にお送りください。メール本文に

- ①写真のタイトル
- ②撮影日と撮影場所
- ③撮影者の氏名と連絡先
- ④写真についてのコメント(何を写したか、どんな時に撮ったかなど)

の4項目を記入してください。メール以外での応募をご希望の方は、博物館までお問い合わせください。

※応募は1人につき1作品までとさせていただきます。複数枚での応募を強く希望される方は博物館までご連絡ください。

※写真画像データは5～8MB程度の容量でお送りください。さらに大きい容量での添付をご希望の方は博物館までご相談ください。

※企画の趣旨に添わないと判断された写真(標茶町で撮影したものではない、テーマと関係がない写真)につきましては展示不採用とさせていただきます。

※応募者の個人情報は厳重に管理します。

# いきもの発見日和



File.4 マガモ  
発見日 7月中旬



塘路橋の下をスイスイ泳いでいるところを発見しました。子ガモが母ガモのまねをして草を引っ張るかわいらしいしぐさも見られました。また、この日はマガモのほかにセンダイムシクイやコサメビタキなどの巣立ったばかりの個体が多く観察できました。

## 「脚付きの土器」 注目の展示資料

鶴居村下幌呂1遺跡の縄文時代後期中葉（約3000年前）の竪穴住居内より出土しました。4本の脚が付いた土器で、完全な形のもの是非常に珍しく、文様や装飾も緻密な優品です。



## 巡回移動展 「出張！！屋内バードウォッチング」 巡回中です！

標茶町博物館巡回移動展「出張！！室内バードウォッチ」がいよいよ最後の会場へと移動します。観覧は無料です。まだ見ていないという方はこの機会にぜひご覧ください。後半の日程は以下の通りです。

場 所	日 程
塘路住民センター	8月27日(木)～9月2日(水)
磯分内酪農センター	9月3日(木)～9日(水)

## 館内第1回企画展 「改めて！縄文の脚付き土器と うるし塗り櫛の世界」

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年2月に途中終了した企画展「縄文の脚付き土器とうるし塗り櫛の世界」を再度開催します。

鶴居村下幌呂から発見された貴重な遺物の数々。企画展の見学は無料です。ぜひご来館ください。

● 展示期間 9月5日(土)～10月31日(土)

## しべちゃ近世・近代人物誌 第5話

軍馬補充部川上支部支部長 桑田 貞三（前編）

標茶に生きた人々の中には、伝記のような形で記録され、歴史にその名を残した方がいます。そんな人々の人生の物語をご紹介します。

標茶町の市街地形成に大きな影響をもたらした北海道集治監釧路分監が1901年（明治34年）に廃監となり、その施設を転用する形で1908年（明治41年）に設置された軍馬補充部川上支部。川上支部では旭川市に置かれた陸軍第七師団、青森県弘前市に置かれた第八師団への軍馬供給を目的とし、1910年（明治43年）より師団へ軍馬供給を開始しました。軍馬は「活動兵器」とも呼ばれ、陸軍では騎兵連隊が編成されていたほか、輜重兵連隊（軍物資や食糧の輸送部隊）においても重要でした。軍馬の必要性は年ごとに強まり、川上支部においても元々は輓馬（輸送馬）育成のみ行っていました。1925年（大正14年）より乗用馬の育成も開始しています。

1931年（昭和6年）に柳条湖事件、そしてそれに端を発した満州事変が起こるとともに日中間の緊張が高まります。翌年、満州帝国を建国し国際連盟を脱退した日本は、日中戦争から太平洋戦争への道を歩むことになりました。1936年（昭和11年）には二・二六事件が起こり、軍部主導の政治体制へと変わっていき、世の中の情勢と軍の影響力が急速に変化する中、軍馬補充部川上支部の支部長を務めたのが桑田貞三です。

桑田は1888年（明治21年）広島に生まれ、陸軍士官学校23期卒業。騎兵将校として活躍し、1935年（昭和10年）8月に軍馬補充部川上支部長として着任。着任時は47歳で、階級は陸軍中佐でした。



川上支部長時代の桑田（標茶町博物館所蔵）

主な参考文献

「標茶町史通史編」第2巻 2001年 標茶町役場  
「日本陸軍将官辞典」 2001年 福川秀樹・著 芙蓉書房出版